

社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

2000年(平成 12年)3月 31 日

第 31 号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 TEL (6848) 1000

URL: http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc

E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアセンターだより

ボランちゃんの輪が広がりました

1998年 11 月 3 日のヒューマンカーニバルで誕生した豊中のボランティアイメージキャラクター。

第 6 回の豊中ボランティアフェスティバルで「ボランちゃん」という名前が決まりました。そして、今回第 7 回で「ボランちゃんの歌」が披露されました。

手話歌



「ボランちゃん」の歌詞をもらってから、サークルの代表が集まり、相談をくり返し、最後まで悩んだのが「ボランちゃん」の名前をどう表現するかでした。これからもずっと歌いつがれていく手話歌と思うと、責任重大でした。

手話歌のイラストも自分の持っている本を参考に書いてみました。手話の知らない人達もイラストを見て、手話に興味を持っていただければうれしいなと思います。

(手話サークル ジャンケンポン H.I)

① 点訳、手話、 給食、 ぶれあいサロン



地域を支える元気なボランちゃん



あなたもほほえむ、私もほほえむ



ルールル… 心が通うから



歌体操

ボランティアフェスティバルで「ボランちゃんの歌」の歌体操をご披露させていただき、大変好評だったですね。その後、グループの例会や老人クラブなどでも楽しんでもらっています。歌体操グループの大切なメニューの一つになりました。

(歌体操「さわやか」 T.T)

② 対面朗読、手引き、GO!GO!クウーあい号

地域を支える素敵なボランちゃん

あなたの言葉に私も支えられ

ルールル…心が通うから

③ 筆記通訳、募金、子育て支援

地域を支える楽しいボランちゃん

あなたと共に力をあわせて

ルールル…心が響くから



作曲者から一言

ボランちゃんの歌の作曲を依頼されたのは、確か今年の11月頃だったかと思います。その頃は何かとバタバタとしてはいたのですが、私も震災ボランティアに携わっていた人間。何かお役に立てればと、このお話を引き受けることに致しました。

イメージとしては「老若男女問わず誰にでも親しまれるような曲を」ということ。ただ、お引き受けしたはいいいですが、ちゃんとイメージやご期待に添えるようなものができるのかという心配はとてもありました。「誰にでも作れるような曲」というふうになってしまうのは依頼して頂いた意味がありませんし、「なあんだ、別にたいしたことないじゃない」とは言われたくない! というプロとしてのプレッシャーもありました。歌詞もわりと難しい言葉が多くありましたので、できるだけメロディに載せた時にそれを感じさせないように…とも考えました。そんな中で生まれたのが今回の曲とアレンジでした。悩むことも多かったですがお陰様でご好評をいただいているようです。

これからも、この歌を通してより多くの方々にボランティアが浸透し、益々発展していくことを、心よりお祈りしています。

(中司 雅美)

第7回豊中ボラン

もうすっかり恒例となりました豊中ボランティアフェスティバル。今年は2月20日(日) 1500名。ボランティアに対する関心の高さがうかがわれました。

舞台発表

市長・議長も手話でごあいさつ



みんなでボランティア
がんばろう!



夢宅配便による手品



あさひ会作業所による和太鼓



福祉体験作文

ボランティアフェスティバルで発表された作品から、豊中市立克明小学校 6年生の宇都宮麗奈さんの作品をご紹介します。

「桜の会」と交流して

十一月十五日に老人いこいの家で桜の会との交流がありました。桜の会とは、地いきのお年寄りが集まってお話をしたりするところです。桜の会との交流は、毎年六年生がやっています。私の姉も交流しました。いこいの家に着いて私は、一番後の席に座りました。となりのおばあさんは、とても明るい人でした。右に座るはずのおばあさんは、まだ来ていませんでした。「お寺のおしようさん」をしました。おばあさんが

「今の子はこんなややこしいこともできるんやね」と言いました。最初は、二人でやっていたけれどあまり楽しくないので、五人位でやりました。たくさんおばあさんと楽しかったです。おばあさんも楽しそうにやってくれたのでうれしかったです。クイズをするときに右に座るはずのおばあさんが来ました。おばあさんが

「何年生?」

と聞いたので

「六年です」

と答えました。おばあさんが

「クイズむずかしくてわかんないわ」

と言っていました。高次君の落語が始まりました。おばあさんは笑いながら聞いていました。リコーダーをふいたとき、おばあさんが私を見ていたので少しはすかしかったです。ふき終わるとおばあさんが

「むずかしいのふくね。私らのときは、あなが少しだったのに、ずいぶん変わるもんだね」と言いました。もう一人のおばあさんが

「私達もこんな時があったんだよ。あなた達のおばあちゃんもこんな時があったんだよ。あなた達の年がいちばん良かった」と言っていました。おばあさんが

「なみだがでそうなくらいうれしかったよ」と言ってくれたとき、私はすごくうれしくなりました。お別れはあく手をしました。おばあさんは、何度も

「ありがとう」と言うてくれました。

「忘れんね。また来てね」と言われました。私は、おばあさんが喜んでくれたので、もっと長い時間、お話をしたかったです。でもおばあさんが喜んでくれてほんとうにうれしかったです。

ティアフェスティバル

に市民会館で開催しました。午前中はあいにくの雨にもかかわらず、参加者はなんと

～パネルディスカッション「介護保険とボランティア」～

まずは、老人介護者（家族）の会の皆さんに寸劇で介護保険サービスを受けるまでの過程をわかりやすく説明していただきました。



迫真の演技！



パネルディスカッションではふだん活動しているボランティアさんが、介護保険制度が始まってからの活動などについて熱く語り合いました。

情報保障の重要性を…
聴覚障害者が公に出る機会を与えてくださったことに感謝！
(稲さん)

NOと言えるボランティア
でなければ…
(斎藤さん)

サロンはこれからますます重要！
(久野さん)

電話の向こうから聞こえてくるのは…
(谷戸さん)

もっとたくさんの方にユウーあい号
を利用してもらいたい！
(竹中さん)



パネラー左から 牧里教授 稲さん 斎藤さん 久野さん 谷戸さん 竹中さん

～各コーナーでは～

今年もたくさんの方がボランティア体験
スタンプラリーに参加しました。



ホームページをつくってみよう！



中学生も手話体験



インスタントシニア体験

府内初の企業・団体ボランティアネットワーク誕生

12月18日豊中市立福祉会館で企業・団体のボランティアネットワークとよなか（Vネットとよなか）が結成されました。この会は平成9年9月より豊中市社会福祉協議会が市内の企業・団体の社会貢献活動を推進していく方策を検討するために大阪府立大学教授の牧里毎治先生を委員長として組織した企業・団体の社会貢献活動検討委員会の提案で実現したものです。昨年の企業向けのアンケートでネットワークに参加したいと回答した58社を対象に呼びかけ、24社、個人会員20名の発会となりました。経済情勢の低迷の中、厳しい船出ですが、知恵を出し合い、実りのある会に育てていきたいと交流されました。



結成総会では牧里先生のお話もありました。



総勢50名が参加されました。

Vネットとよなかの活動の柱は「まいどおおきに」

ま…まちに必要な活動を見つけます
 い…いろんな企業市民と出会いの場を作ります
 ど…どんなことにも挑戦します
 お…思いやりの心育てます
 お…おもろいボランティアありまっせ
 き…気軽にいつでもを支えます
 に…人情味あふれるまちづくりを

調査研究
 交流の場の提供
 チャリティイベントの企画
 学習機会の提供
 情報提供
 活動の環境整備推進
 ボランティアの推進

会 費

*法人会員 年間一口10,000円 個人会員 年間2,000円

*会の趣旨に賛同される事業所・団体・個人どなたでもOK

2000年3月現在 加盟企業 (順不同)

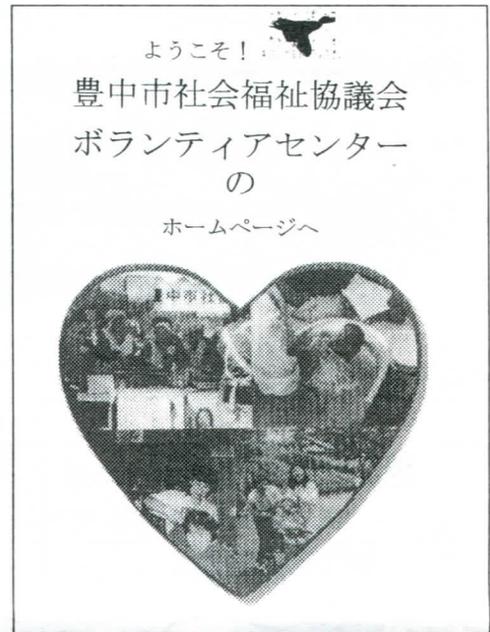
NTT北大阪、篤友会総合坂本病院、大阪ガス北東事業本部、大阪北生協、(株)センリ、
 きんてん豊中営業所、阪急百貨店千里阪急、北大阪急行電鉄、関西電力三国営業所、
 塩野義製薬、水都信用金庫本店営業部、阪急タクシー、豊中商工会議所、豊中青年会議所、
 ナショナル住宅産業、服部建設、阪急バス、富士ゼロックス、松下産業機器、
 豊中市民懇話会松下電器産業洗濯機事業部、連台北大阪地域協議会豊中地区協、丸新、
 セイコー電設、豊中環境事業協同組合

ボランティアグループいろいろ 「アクセス」

ボランティアセンターのホームページをつくろう

豊中市社会福祉協議会のボランティアセンターでは、平成10年9月以来、インターネットでホームページを発信しています。ボランティアセンターのグループ内容や活動のご案内を中心に公開しています。ホームページ開設以来、ホームページに興味のある市民パソコンボランティアが、毎月集会を持ち、画面のメンテナンスや新企画・新技術を話し合っています。老若男女、いろいろな人達が集まってきて、にぎやかです。

とくに技術的に難しいことを知っている人ばかりでなく、画面をいかに面白くするか、という熱意があれば、誰でも気軽に参加できるオープンな15人ほどの「アクセス」という名のグループです。



ハートの中はいろいろなボランティア活動です。
(トップページ)

最近、かわいいキャラクター「ボランちゃん」も画面に登場して、親しみやすいホームページになってきました。アクセス数(読んでいただいた人の数)も、この3月には延べ6000人を越えて、いよいよメンバーは張りきってきて、画面も充実しています。

3. ボランティアスクール・体験プログラムのご紹介

ボランティアは始めたいけど、少し勉強してから始めてみようとお考えの方、活動しているがもう少し
専門家の考え方を聞いてみたいという方のために、ボランティアスクールを開催しています。

また、ボランティア休暇や夏休みを利用して、社会人や学生がボランティア体験が出来るプログラムも用意しています。



ボランティアスクール入門講座
(毎年、5月から6月頃開催)
ボランティアってなに?というところから活動の体験談や種類、心構えなどを学びます。



社会人のためのボランティアスクール
(今年度より7月から8月実施)
社会人が参加しやすいように休日にスクールを開催します。
スクール終了後は、ボランティア体験などを使って、市内の施設などへボランティア体験をします。

いろいろなボランティアスクールがあります。
(ボランティアスクールのご案内)

また2月5日には、アクセスによるセンター内のオープンセミナーが行われ、多数の未経験参加者が、新規に購入されたデジタルフロッピーカメラを使って、写した画像が、ただちにホームページに張り付けできる技術を体験し楽しみました。

(アクセス M.Y)

幅広い年代の方が参加したオープンセミナー



ホームページのURL(アドレス)は、<http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc> です。

介護保険とボランティアのガイドライン作成

豊中市社会福祉協議会ボランティアセンターに最近「ボランティアの名簿がほしい」や「ケアプランの薬取りをボランティア活動で協力いただけないか」などという問合せが増えてきました。そこで小地域福祉ネットワーク推進委員会にて介護保険と小地域福祉ネットワーク（ボランティア）との関わりを整理するためにガイドラインを作成しました。ガイドラインの柱は次のとおり

*本来ボランティア活動は介護保険の補完や代替が主たる目的ではない。

*当面の間は、介護保険が浸透するよう声かけや見守り活動を中心に対象者の状況把握をし、グループ援助活動では情報交換の場として活用。ただし個別支援については、介護保険メニューに関しては保険を基本的に優先していく

対象者別の活動の主な意義役割など

| | 介護保険認定外（自立など） | 介護保険認定された人 |
|--------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 声かけ見守り活動 | 情報提供、未申請者への普及 | 状況確認、情報提供 新しい事業開発 |
| 個別支援活動 家事援助・話し相手 通院介助など | 緊急時はできる範囲で協力 長期の場合は介護保険申請へ | 基本的に介護保険を優先 保険メニューにない場合は可能な範囲で協力 |
| グループ援助活動 ふれあいサロン・会食 ミニディ・世代間交流 | 未申請者への情報提供の場 仲間づくり、予防活動 | ケアプラン等の情報交換 仲間づくり、健康づくり |

*介護保険の動向を見ながら順次見直しをしますが当面は市社協にご相談を

ボランティアはいま

豊中に住み、ボランティアグループ「みちしるべ」に入会して、先輩方に支えられ活動してはや十年、昨秋より、上野地区社会福祉協議会ボランティアよりお誘いをうけ、ミニディを地域の方々と一緒に、お手伝いさせていただいております。

月一回、堀田会館で開かれます、参加者は七、八人で十時頃集まり、「お変わりございませんか」の挨拶で始まり、血圧測定、なつかしい歌、軽い体操、手作りの昼食、ちぎり絵等をしてなごやかな、ひとときを過ごします。

スタッフは、当日の企画や参加者一人ひとりの係や、会場作り、昼食作り、送迎係等を決め、たのしい雰囲気の中無事終了することを願って精一杯はげんでおります。

小地域になると、人のつながりが濃くなりすぎ、やりにくい事も出てくるのではと敬遠してしまいがちですが、「遠くの親戚より近くの他人」という諺のように、おそれずに仲間入りして、ご近所のお話を聞いたり、よき習慣をうけつぎ、共に考え、学び、新しい風を入れ、助け合う心をもって共生していく事が大事ではないかと感じました。

現在はボランティア出来る立場にあるが、いつ逆転してお世話になるかは時間の問題です。どうかそれまでは、皆様に笑顔でボランティアを続けさせて下さい。お願いします。

(みちしるべ N.H)

《ボランティアレポーター訪問記》

今回の訪問記はステップアップ講座とボランティアのためのホームヘルパー3級養成講座です。

ステップアップ講座

【視察研修編】

3月14日午後、尼崎市に在る特別養護老人ホーム「園田苑」と「尼崎災害復興グループハウス」に総勢18名で訪れました。

園田苑の開設1988年、定員50人、平均年齢82才強、(女性52人、男性8人)。玄関の外見は決してきれいとは言えないが、気楽に暮らしている生活の匂いが直ぐに伝わってきた。対等・平等・互恵がモットー。

グループハウスは66才から89才の12人が暮らす。平屋建ての中央には中庭ウッドデッキとリビング、共用の台所・浴室があり、廊下をはさんで左右にトイレと縁側付きの個室が18室並ぶ。

年中24時間生活援助員に見守られ、心が安まる。いつでも一人になれる、いつでもだれかに会える。衣食にかかわらず自由がきく、買物も頼め、通院にも介助がある、財布も時間も自分が決められる。在宅でも施設でもない高齢者が自律して生活できる理想的な住まいに思われた。

「園田苑」苑長中村大蔵さん、お忙しいところありがとうございました。(豊中アッシー T.I)

【講座編】

四月から始まる介護保険に、ボランティアとしてどのようにかかわれば良いのか？講座ではまず、このことについて事務局よりボランティア活動のガイドラインに基いて説明がありました。

その後、6つのグループに分かれて事例演習に取り組みました。出された事例に対して笑い、ためいきの中、グループ毎に知恵をしぼり、お互いに発表しあいました。

ボランティア活動は介護保険サービスを補完するものではありませんが、ふれあいサロン、給食サービスなどの活動を通じて介護保険の情報を十分交換し、さまざまな課題を行政に申し出る役割をボランティアが担うこととなります。

地域に根づいたボランティアがうまく活動できるよう、介護保険とのかかわりが気になるこの頃です。(そよかぜ H.M)



ボランティアのためのホームヘルパー3級養成講座

ボランティアセンターでは登録ボランティアや校区福祉委員会の関係者を対象に2月からホームヘルパー3級養成講座を開きました。

講義や実技講習の後、デイサービスセンターでの実習とホームヘルパーさんと一緒に利用されているお宅へ同行訪問も行いました。

最終日に行った討論会では、「実習に参加し福祉施設の概要がよく分かりました」「ヘルパーの仕事は思っていたよりハードでした」などの声が上がっていました。



悪天候の日や、体調を崩されても講座に参加された方もありましたが、修了書を手にされるとみなさん満面の笑顔を見せておられました。今後、地域でのボランティア活動に期待しています。

あの瞬間（とき）を忘れない 災害救援と小地域ネットワークを一体とした取り組み

阪神・淡路大震災から5年を迎えた1月16日（日）原田小学校で原田校区福祉委員会と市社会福祉協議会主催で災害支援訓練を開催しました。

訓練の後体育館で災害救助犬の役割について日本レスキュー協会の大山氏の講演を実施しました。

原田校区福祉委員会では、小地域福祉ネットワーク活動と災害救援活動を一体として進めていくために昨年の2月校区内の各種団体を呼びかけ、小地域福祉ネットワーク推進委員会を結成しました。今回はその組織を基本に市社協の指導で、市の防災課、北消防署等が一体となった災害支援訓練となりました。災害を受けても皆さんが避難する前に高齢者、介護者などの存否確認をすることや震災に対する意識向上及び各団体、各自治会が緊急対応時の連携と支援が強化されたおかげで地域の皆さんに安心感を与えることができました。

日ごろの声かけ見守り活動が災害時に役立つことを実感・体験した1日となりました。

原田校区福祉委員会 A.T



★有珠山災害救援募金活動実施中！！

豊中市社会福祉協議会では現地の支援活動に及び被災者救援のために役立ててもらうことを目的に福祉会館事務室に募金箱を設置しています。

編集後記

春の訪れと共にいよいよ介護保険が動き出します。編集会議でも話題の中心は、実施後のボランティア活動への影響などの事でした。

これからは性別・世代を超えた多くの人の活動への参加と、違った立場の人々の声を丁寧に拾い上げていくことが今まで以上に必要になってくるのではないのでしょうか？

今後の予定

- ★5月より毎月：
登録ボランティアグループ
オープンセミナー
- ★5月20日：企業ボランティア
セミナー
- ★6月：ボランティアスクール
入門講座
- ★7月15日：
サタディボランティアスクール
- ★7・8月：ボランティア体験
プログラム
- ★9月：ヒューマンカーニバル(予定)
- ★11月：ねんりんピック
大阪ボランティア
フェスティバル
年賀状ボランティア
- ★01年2月：第8回豊中ボランティア
フェスティバル

※平成12年度もボランティア関係のイベントがもりだくさんです。

是非、ご参加ください！！

★使用済みプリペイドカード集めてます！！

「もういらないから…」と捨ててしまおうと思っている使い終わったテレフォンカードや回数券を、福祉のために役立ててみませんか。市社協では使用済みプリペイドカードを集めています。このカードは換金して市社協の事業費として活用させていただきます。

対象となるのは

テレフォンカード、ラガールカードなど回数券
お問合せは

豊中市社会福祉協議会 TEL. 6841-9393



(T. D)